

報告

天文教育普及研究会・近畿支部会報告

成田 直（豊能町立東能勢小学校）

1. はじめに

2006年6月17日（土）、18日（日）に和歌山県のかわべ天文公園に於いて近畿支部会を開催しました。

前日の16日は、会場であるかわべ天文公園がちょうど10周年を迎えた日であったため、17日の夕方には10周年記念イベントにも参加させていただきました。地域の方も多数参加しておられ、天文公園を支えてこられた方々による10年間の取り組みの成果を感じました。このイベントでは、天文公園にある口径100cmの望遠鏡にちなんだ“直径100cmの誕生日ケーキ”も登場して、会場を沸かせていました（図1）。



図1 直径100cmの誕生日ケーキ

2. 内容について

今回は、夜の非公式な話し合いも大切にしたいとの思いから、宿泊を伴った2日間の日程で行いました（「3. プログラム」を参照）。全体は大きく4つのセッションからなっており、1日目にセッション1と2を行い、プラネタリウムを觀賞させていただいた後に10周年記念イベント参加、望遠鏡見学、そして2日目にセッション3と4を行うという流れ

でした。

セッション1は「会員の実践および報告」で、今回は6名の方に発表していただきました。榊井さん（大阪府教育センター）には、昼の発表とあわせて夜にもご自身が撮られた天体写真を披露していただきました。

セッション2は、今年の天文学会春季年会で話題となったアジアの教科書展を受けて再び考える「教科書展にまつわる話」で、西村さん（京都府立洛東高等学校）に話題提供していただきました。

セッション3は「各国の教科書&天文の絵本閲覧会」で、有本さん（京都市立塔南高等学校）と塚田さん（天プラ）に資料提供していただきました（図2）。

セッション4は「和歌山からの報告」で、和歌山を拠点に活躍されている2人の方から発表をしていただきました。また、2日目の初めには当研究会の新たな動きを嶺重さん（京都大学基礎物理学研究所）から紹介していただきました。

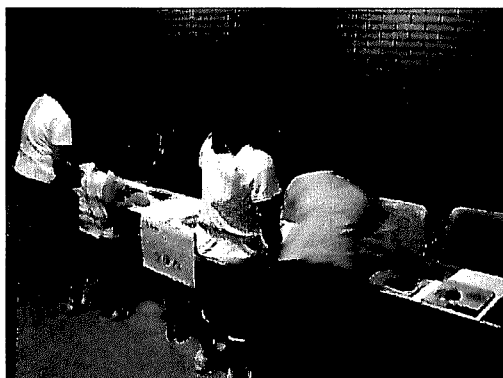


図2 絵本に興味を示す地元の子どもたち

3. プログラム

研究会のプログラムは次のとおりです。

■セッション1 ー会員の实践および報告ー

「かわべ天文公園の10年」

上玉利 剛（かわべ天文公園）

「SBIG社STシリーズCCDカメラのフィルター透過特性」

山口 卓也（和歌山大学）

「冷却CCDカメラを用いた星雲の3色合成画像の作成」

小高 大輔（大阪市立丸山小学校）

「NPO花山星空ネットワークの設立準備について」

黒河 宏企（花山天文台）

「地球温暖化を救えるか？」

ー 総合学習での実践 ー

西村 一洋（枚方市立樟葉西小学校）

「天体写真」

榊井 俊彦（大阪府教育センター）

「バリアフリーの天文教育・普及活動

ー 病院訪問活動を事例として ー

嶺重 慎（京大基礎物理学研究所）

■セッション2 ー教科書展にまつわる話ー

「83年以前のパキスタンの天文教育

～ 教科書の図版から ～

西村 昌能（京都府立洛東高等学校）

■セッション3

ー各国の教科書&天文の絵本閲覧会ー

・各国の教科書提供

有本 淳一（京都市立塔南高等学校）

・天文の絵本提供

塚田 健（天プラ）

■セッション4 ー和歌山からの報告ー

「トルコ日食中継」

尾久土 正己（和歌山大学）

「8m電波望遠鏡プロジェクト」

佐藤 奈穂子（和歌山大学）

4. おわりに

今回も社会教育施設、大学、高校、小学校、NPOなどの様々な立場から日々の研究、実践の報告をしていただき、大変有意義な2日間になりました。

この2日間で筆者自身がこれらの発表に共感し、刺激を受け、またヒントを得て、今後も天文教育普及により一層の力を注いでいこうと決意を新たにしました。

本稿を読んでいただいて、たくさんの方に筆者と同じ思いを持っていただけることを期待しております。